

スキーはわたしの宝物

元・全日本デモンストラーター

海野(旧姓・白河) 三枝さん

スキー指導員として14年間、全日本女子デモンストラーターの中心的存在として8年間、活躍した海野三枝さん。現在は結婚・出産を機に指導者としての活動を休止し、更木町に住んでいます。

海野さんは長野県北安曇郡白馬村生まれ。家がスキー場のそばにあり、スキースクールで校長をしていた父親の影響もあって、遊びの一つとしてスキーを始めました。小学生から本格的に競技スキーを始め、インターハイ・国体などで優勝。大学生のとき、自分のスキーを振り返り、速く滑ることだけでなく、いろいろな斜面に対応できるように滑ると、多岐の人にスキーの魅力を伝えたいと思い、指導員を志しました。



女子総合優勝。2年に1度行われる全日本デモンストラーター選考会同連盟主催でも3度、女子1位認定され、トップデモンストラーターとして、多くの人にスキーの魅力を伝えてきました。

子育て中の今は、子どもにスキーを教えるのが楽しいそうです。「子どもには、あれこれ教えるのではなく、教えすぎないことが大事。子どもは自分で見て、覚えるので、

大人がお手本になってあげてほしい」と子どもにスキーを教えるコツを話していました。「スキーをやってきたおかげで、いろいろな人に出会い貴重な経験ができた。スキーは今でもうまくなりたいと思っているけど、これからはゆっくり、楽しみながら滑ればいい。子どもといろいろなところを一緒に滑りたいですね」と話し、お子さんとほほ笑み合っていました。

自分で見、覚えるので、

国際交流ルーム発



ハロー! まいぶん 126

やさしく学べる日本語テキスト 『いわての「生活」日本語』を発行!

国際交流ルームでは『いわての「生活」日本語』を今月発行しました。これは地域で「生活者」として暮らしている外国人、特に「日本人の配偶者」のための初級日本語テキストです。毎日の生活場面から「外国人のお嫁さん」が遭遇しそうな10のトピックを選び、さまざまな活動体験を通し、各トピックで達成感を得られる工夫をしています。また、多くの写真とイラストを使い、自然に楽しく日本語を学べると同時に、日本語指導の経験のない「お嫁さん」の家族や近所の支援者も一緒に易しく指導できる教材です。方言の微妙なイントネーションは音声で聴く方が効果があるので、当ルームのボランティアがさくらホールで収録した会話のCDを付けました。更に日常生活の基本的なマナーも取

り上げ、異文化理解の一助になればと思います。

この事業は(財)自治体国際化協会の主催する「先導的施策支援事業」の一つで宝くじの普及活動の助成を受けて行われました。



企画・編集を行った国際交流ルームの皆さん

国際交流ルーム

電話・ファクス：63-4497

電子メール：kiah@kitakami.ne.jp

おでんせプラザぐろーぶ3階 生涯学習センター内

開館日：毎週月-土曜日 午後1時-7時

休館日：日曜・祝日、第3水曜日、年末年始



中央図書館 ☎ 63-3359
 江釣子図書館 ☎ 77-2215
 和賀図書館 ☎ 72-2322

きたかみ物産館

秘密のスイーツ はやし まりこ
 108ぴきめのひつじ いまい あやの
 農作業の絵本 1~5 じんざき そうこ
 おめでとう おめでとう 中川 たかひろ
 昔の道具 工藤 眞功
 この人から受け継ぐもの 井上 ひさし
 夏美のホタル 森沢 明夫
 どんこうにつぼん縦断 東日本編・西日本編
 芦原 伸
 ほどのよい快適生活術 岸本 葉子



桑の葉エキスを凝縮した化粧品
Quwa
 ラ・ポアスイート
 la pousuite

左からローション(化粧水)3,150円、
 エッセンス(美容液)5,250円、ソープ2,100円

(株)イースト

九年橋3-19-18

☎0120-65-4480 FAX 63-4633



《2月の新着本から》

『ほんをよめばなんでもできる』



マーク・ブラウン 絵
 セーラー出版
 本を読んだら、何でもでき
 ちゃう“読む天才”サムの大活
 躍を描く。読む楽しさと勇気
 と知恵にあふれた絵本です。
 手にとって読んでください。

『顔のない軍隊』



エベリオ・ロセーロ 著
 作品社
 南米コロンビアの僻村を舞台
 に、今なおやまめ武力紛争にほ
 んろうされる庶民の姿を、悲し
 いユーモアを交えて描く長編小
 説です。記者は地元北上出身の
 人です。



代表取締役社長
 菊池和也さん

桑の成分がたっぷり入った
 化粧品シリーズが、北上に誕
 生。桑の葉が持つ「活性酸素
 消去成分」が主成分で、肌の
 きめを整え、張りとう弾力を与
 えてくれます。
 桑は更木地区を含む県産品
 を使用。自然由来成分をとこ
 とん追求した、肌にも自然に
 もやさしい化粧品です。

散歩道

129



北上市長 伊藤 研

年祝いの多いまち

新年会も一区切りと思
 きや、2月、3月の北上地
 区では盛大な宴会シーズン
 となる。浮き世の付き合い
 といっても「今月の交際費
 はとくにオーバー」と妻
 は嘆く。

2月、8月は「につばち
 の涙月」と言われ、一年の
 内で最も商売が振るわず、
 北上市の飲食店も例外では
 なかったようである。考え
 られたのは、この時期の宴
 会の創出であったと聞く。

男の42歳の厄払いの宴
 会が仕掛けられた。次いで
 還暦、古希などが盛んにな
 った。特に42歳の年祝
 いは、類を見ないほどの盛
 大な宴会になり、他市から
 参加した招待客を驚嘆させ
 ている。

私も42歳の時、家族主催
 地区、青年会議所など6回

も：今思えば、盛大に厄を
 払ってもらって感謝であっ
 たが、多くの人に「散財な
 ど迷惑を掛けてしまった」
 お互いの元気を確認し合
 った還暦の会では、思いは
 若きに戻り無邪気で楽しか
 った。担任の先生が中学の
 卒業文集を返してくれた。
 よくも今日まで大切に保存
 してくれたものと感謝しつ
 つ目を通すと、恥ずかしく
 なり慌ててポケットにしま
 い込んだ。家に帰り、人目
 に触れない引き出しの奥に
 しまい込んだ。

この時期に返してくれた
 先生の意図は何であったら
 うか。「お前はこんな夢を
 持った少年だった。人生の
 後半をしっかりと生きろ」と
 の激励だったのだろうか？
 た、だニヤッと笑って「ほら
 君の」と返してくれた。返
 す前に読み返したのかな。
 人生の節目の宴会に招かれ
 るたびに気になっている。
 宴会はたくさんの思い出
 を引き出したり、激励にな
 ったりするから楽しい。明
 日への活力だと言っても、
 これ男の勝手な言い分かな。